別記様式（第3条関係）

会 議 録（1）

会議の名称	令和6年度桶川市公民館運営審議会第3回定例会	
開催日時	令和7年2月17日（月） （開会）午前9時30分 （閉会）午前11時15分	
開催場所	桶川公民館 研修室1、2	
議長	宮崎 和也 委員長	
出席委員	委員長 宮崎和也 委員 矢澤等、中林邦彦、星野昇、湯浅哲朗、石田文子、小野原典子	
欠席委員	副委員長 梅原とも子	
事務局職員 職名及び氏名	桶川公民館長 兼 川田谷公民館長 松川 敬、 主任 加藤潤也、主任 尾崎祐未子、主任 山本栞 桶川東公民館長 森田光昭、主任 諸岡禅、主任 三上藍 加納公民館長 白子隆之、主任 大内淳 川田谷公民館 主任 三村紋子、主任 関根豊	
会 議 事 項	議 題	(1) 前回会議録の承認 (2) 報告事項 ① 『桶川の教育』及び『教育委員会点検評価報告書』について ② 川田谷公民館サークル発表会について ③ 令和6年度講座実施状況について ④ 令和7年度当初予算の概要について
	協議事項	なし
	その他	・ 令和7年度公民館運営審議会第1回定例会 令和7年4月21日（月）午前9時30分～
	決定事項	議事1 承認
配布資料	会議次第及び説明資料（資料1～3）	

会 議 録 (2)

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
公民館長	<p>次第1 開会宣言 定足数に達しておりますので、ただ今から令和6年度第3回桶川市公民館運営審議会を開催いたします。お手元に配布しております次第にしたがって進めさせていただきます。</p> <p>次第2 あいさつ 公民館運営審議会委員長 桶川公民館長</p>
公民館長	ではこれより議事の進行を委員長にお願いしたいと思います。
委員長	それでは、議長を務めさせていただきます。 次第3 議事(1) 前回会議録の承認について、委員の皆さんからの承認を求めます。
委員	異議なし
委員長	承認いただきましたので、会議録として、この形で市ホームページに掲載します。
委員長	次第3(2) 報告事項①『桶川の教育』及び『教育委員会点検評価報告書』について、事務局より説明を求めます。
事務局	<p>【資料1】に基づき説明 「桶川の教育」について、本市における教育行政全般の各教育機関の活動・施設概要をまとめたものです。利用人数ですが川田谷公民館については大規模改修工事がありましたが、おおむね大きな減少もなく昨年度につきましては87%になっております。 教育委員会点検評価報告書ですが、桶川市教育振興基本計画に掲げる4つの基本施策を実現するための47の取り組みについて教育委員会が自ら点検して評価を実施しているものです。主旨としては地方教育行政に関する組織及び運営に関する法律第25条に基づきまして教育委員会は毎年教育長にその事務の管理点検及び評価を行いその結果に関する報告書を作成しこれを議会に提供することとされております。「411 家庭教育の支援」、「433 地域コミュニティ・社会教育団体への支援」、「523 ライフステージに応じた講座の開催」の3つとなります。今年度から点検様式が変更されまして、令和5年度が最初のページとなります。人口に対する公民館の</p>

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
事務局	利用の割合というのが非常に難しく、総人口にこの延べ人数を当てはめる方法になっているので87%という数字が本当に正しいかどうかは微妙なところでもあると思っています。外部評価者からもこれは変えた方がいいのではないかとご指摘をいただいています。どのように精査するかを考えていく必要があります。
委員	実績の評価は良、質の部分は満足度などで反映されているのでしょうか。
事務局	家庭教育セミナーでは満足度がアンケートの結果になっており質の部分での評価結果です。講座アンケート結果には反映されていませんが、様々な意見等をニーズとして次回に生かすようにしていくところでございます。
委員	各講座の設定の仕方も色々あるでしょうし、申し込んだけど満員で参加できなかった場合に、定員や回数を増やしてほしいなど、そういう動きはありますか。何か反映はされますか。
事務局	講師と相談し午後の部を開催したり、定員を増やすなど行っております。
委員	参加できた方は評価が高いと思います。参加できなかった方は評価が低いと思います。そういう人を極力少なくすることが全体の評価を上げる策じゃないかなと質問しました。
委員	「433地域コミュニティ・社会団体の支援」のところで指標があるかと思いますが達成度を評価するための客観的な数値目標というのがそれぞれ取り組みの中で掲げられていて、市内人口に対する公民館利用者の割合というふうな指標を出しておりまして、外部評価にも指摘があるように「人口に対する総利用者延べ人数の割合として反映されているというところは実態や課題を把握する手法としては不十分である」と。質問はそれぞれの取り組みに対してどういう指標を掲げるのが適切に評価するための数値目標にふさわしいのか、公民館の事業で公民館の方でこの指標を使いますということができるのですか。それともこの数値目標を使いなさいということもありますか。
事務局	特にありません。この指標で例年出していたので、この出し方はどうなのだろうかと思っています。公民館を利用すると

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局	いっても市内の人口で割ってもいいのかここは指摘通り、来年度以降、どんな指標にするか検討する必要があります。公民館を利用している人だけの指標で出していいのか、課題があると悩んでいます。何かこうやったらいいのではと意見がありましたら参考にさせていただきたいです。
委員	個人的に感じた知りたいなと思ったことは、延べ人数ではなくて実数として市民の中の何人位が公民館の事業に関心を持ってくれたのかが知りたいです。
事務局	同じ方が何度も利用していますので、実数を出すというのが非常に難しいです。こちらの指標を再考する必要があるということは認識しています。
委員	技術的な部分があるとは思いますが、修正をしていただけるとありがたいなと思います。
委員	今のことに関連して、課題は何かということから、始める方がいいかなと私は考えるのですが、結局新たな人が公民館を活用する割合を追っていくということもひとつだし、あと延べ人数ではなくて実際にどのくらいの人数なのかということが1つ、あとは年代をやっぱり若い人も高齢の方も年代別の推移というかも、どこが広がりにくいかどこが広がっているかとかそういう形のを統計をとれば桶川の公民館としてここを広げようとかみんなが来やすい公民館であってほしいなと思っているのでその辺もひとつ考えていただければいいなと思います。
委員	確かにそうですね、次の対策をとれるデータを取らないと、いけませんので、ぜひ収集の仕方を新しくして評価項目にしてほしいですね。
事務局	中々若い世代の利用は少ないです。そういった意味も含めて土日の参加しやすい日にちに講座の設定を考えて実施していますが、やはり中々若い方の参加は難しいかなと悩んでいます。若い人向けの講座を実施しても参加者が集まらなかったり、工夫していく必要があります。
委員	若い学生を集めるために中学企画講座を実施していますよね。同世代の共感を得ていないというところもあるのではと思います。世の中で上手くいっている地区もある。若い人たちが企画してそういう例を集められないのかなと。

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委員	そうすると世の中にこれだけ実績があるよと。新しく考えなくてもこれやってみたいとかね、その学生たちが選べるものが何か例としてベースにないのかなと。どうなのですか。
事務局	色々な公民館の活動は雑誌もありますので、そういったものを参考にと思います。
委員	どこかでそういう事例で、若者向けの取り組みで成功されたことはないのですか。
事務局	インターネットで調べることができます。
委員	今の中学生が企画したにも関わらず、あまり同世代の共感を得ていないんじゃないかと話がありましたが、その部分より参加人数が増えないのはむしろ学校の常態が、常に忙しいというのが実態だと思っています。学業だけではなく家庭の事情含め、高校生はアルバイトも含め本当に忙しい生活をしているのが感じている中高生の現実の生活と思います。そこで関心があるものが公民館でありました、それを目にしました、でもそれは何月何日の何時という条件付きです。行きたいと思う、関心があったとしても行ける状況にあるかわからない、現実があります。その実態が参加人数に出ているのではないかと思います。だから根っこがかなり深いのではと。企画が魅力的な講座を考えれば増えるよと、単純につながるものではなさそうな気がしています。難しいし地道な努力を色々な積み重ねかと。どこかで学校と提携するとか、学校を通じて呼びかけるとかすると少し変わってくるのかなと思っています。
委員	中学生の企画なのですがこれが始まったときは、すごいと思いました。それ以前は多分中学生が講座に参加するってなかったのではと。あれが始まることによって何人かでも、企画に参加するというのがとても意味があるように思います。そこは数字が低くてもそこは評価されてもいいと思います。それをどこかに表せるならどこかに表したいと思います。だからできるだけ長くこの企画は続けていった方がいいし、興味を引くようなことも、もう少しやり方を変えて学校を通じるとか、色んなことを試行錯誤しながら育てていってそれが評価に表れにくい所ですが、公民館としてそれが大事なんだとそれを思って今後も取り組んでいただきたいと思います。
委員	新規の顧客開拓という公民館にとっての新しい客層の開拓と

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
委員	いう、まさしくそういう取り組みですね。人口に対する利用割合 78%の中で新規開拓がどの位増えたかということもひとつの指標になると思います。
委員	中学生自身が企画に携わるという所が大事だと思っていて、これはすぐには数値として参加者がパッと増えたとか目に見える成果を生み出さなかったとしても、ぜひ継続してほしい、と思います。お願いします。
事務局	3月30日にも桶川中学校の生徒による企画講座を実施します。考えてもらう段階でいつにしようかとなると部活が、テストが、とあってなんとか考えてくれたのが祝日でこの日になりました。本当に忙しい感じがあったのと、せっかくならたくさんの方に来てほしいと思って、校長会で周知のため各学校に1人1枚チラシ配布のご協力をお願いしました。そこまでやって申し込みがなかったりするとこちらも他にどんな方法をとったらいいいのかと思います。
委員	公民館側が色々な面でチラシをみるとどうやって工夫したのか、実行委員会と一緒にどうやってPRするか、そういった努力は続けてほしいですね。
事務局	この中学生企画講座ですが、社会体験で市内の4中学校の2年生が社会体験チャレンジ事業で公民館に来ます。公民館業務とその中のひとつとして公民館のメイン業務である講座企画から開催まで、講座の企画にチャレンジしてもらっています。一昨年度より始まっている事業です。今までも公運審の会議で委員さんの方から中高生の公民館離れという意見もいただき、ぜひその子たちに我々の業務を体験していただくのと一緒に、その子たちが興味関心を持ってもらう講座を出してもらったらどうかというところから始まっています。公民館に来た子達は3日間の中で講座を企画しただけでは終わりではありません。広報をどういう風に出すよ。とか、こういう形でPRが始まるよと、その講座を開催するために社会体験担当の先生のご協力をいただき、企画した生徒さんたちとの連絡を取って調整しながら、実施しています。今の中学生は忙しく、この日に開催したいと企画しても、実際には参加できないということもあるのが現状です。私たちは人数が集まって企画が成功して、参加率伸びてよかったということも非常に嬉しいことなんですけども、講座を企画した子たちがひとつ何か体験できたと、その子たちが満足できて参加者に

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
事務局	も知ってもらえたらいいなというのがねらいなのかなと考えています。結果として参加人数が増えなかった講座は過去に沢山あります。それでも職員も努力していますし、企画した中学生もその後講座開催から終わりまで、何回も協力してくれています。今後も続けられればと思っていますが参加者数が結果ではないと思っています。ただ、参加してくれた子達のアンケートでは、とても楽しかったという感想をたくさんいただき満足度の高い講座が実施できています。これからまた少しずつ広まって沢山の人たちに公民館ってどんなところというのを知っていただければいいなと思っています。
委員	同感です。
委員	色々な方法で取り組んで下さっているのはよくわかりました。中学生が企画する以外に、川田谷公民館の講座で対象が中学生から、となっていてこれも参加できるね、と横のつながりになったらいいなと思いました。今までそのつもりで申し込み対象の表記を読んでいなかったのですが、大人向けと子供向けで書かれていたのですが、中学生から参加できるんだ、というのが新鮮な喜びでした。公民館の中でも横のつながりで、これだからとなっているものがあって、ここに中学生というのが入っているのだから中学生も参加できるねと。中学生の申込はないですね。
事務局	今のところは一般の方だけです。
委員	でもそこで中学生の講座が今度あるよ、とPRするとかで連動できるかなと思いました。
委員長	報告事項② 川田谷公民館サークル発表会について、事務局より説明求めます。
事務局	例年10月に開催しておりましたが、昨年度より、改修工事をございまして令和5年度も中止となり、べに花まつりに出演していただいたという形で参加したサークルもあります。昨年度で改修は令和6年1月に終わりましたが、一部外構工事が今年度行っていまして、駐車場は仮設で開館しておりました。10月の時点では仮設の駐車場でしたので、サークルの方々に説明をして、アンケートを取った上で公民館としても皆さんに参加していただくということが前提ではありますので今年度についても中止になりました。来年度は例年どおり10月開催を目途に進めていく方向です。

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委員長	報告事項③令和6年度講座実施状況について、事務局より説明求めます。
桶川東 公民館長	<p>【資料2-1】に基づき各館長より説明</p> <p>東公民館では28講座実施済みです。それ以降はこれから開催予定のものです。桶川ITネット共催のパソコン講座は6講座終了し、残り1講座です。④以降、夏休み子どもワールドですが、特別支援学級向けの講座を含めて全部で11講座を開催しました。新しく実施したのは④⑤⑦です。④⑤ですが桶川高校2年生の17名を講師に迎え、小学生が高校生にダンスを覚えてもらうという講座でした。こちらは小学生と高校生という普段中々触れ合うことのない世代間の交流も目的として実施しました。最終日には保護者や兄弟が見守る中、発表会も行い大いに盛り上がったところです。⑦東洋大学講師派遣事業共催のクマムシを観察しよう、では講師に東洋大学教授極限環境生命科学研究室の伊藤正弘先生をお迎えして小学4～6年生まで保護者同伴で実施しました。クマムシは当日東公民館駐車場の苔を取って、その苔を参加者ごとにわけて、苔に生息しているクマムシを水中に移動させて100倍まで観ることのできるスマホに取り付ける顕微鏡を使って観察をしました。この講座では普段あまり公民館に来ない男性の参加者が多く参加していただけたのがよかったですと思います。子どもワールドは年々参加希望者が増えていることに比例して、当選してもキャンセルする人も増えています。キャンセル待ちの人に中々連絡がつかないケースも多く、参加者の確保に苦労しています。②は前年度のカリンバ講座に続いて当初から講師との打ち合わせの中でサークル化を目標にし、結果無事サークルとなりまして今会員9名で、11月から活動しております。4月のサークル発表会にも出演してもらう予定です。⑩は桶川出身のジャズヴォーカリストの方と、OPWというアマチュアバンドのコラボで、コロナ明け3回目の共演となりました。年明け早々から申込開始し、出足は鈍かったのですが、最終的には114名の申込があり、多くの方をお断りしなければなりませんでした。アンケートから初めて参加する方が多くて満足度の高いライブとなりました。⑩は先ほどから話がありましたが10月のチャレンジ事業から生まれた中学生企画講座です。3月2日に開催予定で、現在5名の参加希望でして、こちらも各学校にチラシやポスターの配布をお願いして申込期間を延長して参加を呼び掛けているところです。全体的にバラエティに富んだ充実した講座の内容を数多く開催できました。サークルとなる講座が1つのみに止まってしまったことが残念な点です。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
加納 公民館長	<p>加納公民館では実施済みは①～⑰まで実施済みです。①⑭は講談講座を実施しました。講師はボランティア活動もされている方で、ふれあい学級でも第1回目講師を依頼した方です。⑭12月14日の赤穂浪士討ち入りの日に実施しました。一般向けですが小学生も1名参加があり、大変好評でした。②～⑩夏休み子どもワールドです。加納公民館では和の文化に触れる機会ということで市民ホールにてお箏の教室を実施している講師に依頼して企画しました。2日間に渡り、目標の曲を見事に演奏することができました。避難所HUGですが公運審委員の方々にもご参加いただきありがとうございました。⑨夏休みに親子向けに、防災グッズや防災のセット、お湯ぼちやといって湯煎料理の防災用の食事を交えながら防災体験ということで実施しました。能楽体験も参加者は少数でしたが、のちの色々な講座に改善をしていきたいと思えます。⑪⑫加納公民館サークルの体験講座です。普段の活動の見学、体験を行い、それぞれのサークルに若干名加入していただきました。これは会員数を増やすためだけでなく公民館がどんなところかということを知っていただく機会となりました。⑬加納公民館サークルの桶川切り絵を楽しむ会との共催事業として準備含めて4日間、開催日が平日でしたが、大変大勢の方にいらしていただきました。今後も共催事業を広めていきたいと思っています。⑰では市の安心安全課の防災担当の職員、公運審委員の方、市広報にも掲載されていますが、女性がどのような立場で避難するかということで人権男女共同参画課職員、熊谷市公民館職員も地域公民館の今後の活動に役立てたい、と参加していただいています。この講座は加納公民館のみですが、できれば桶川・東・川田谷、安心安全課も含めて地区の区自治会や自主防災と連携を取れることとして他の館でも実施しても良いのではと、一つの案としてお話しさせていただきます。⑱和の習い事ですが3月の加納公民館サークル発表会の一般団体の中に演奏予定です。お箏の体験コーナーやお茶席を設けたりして、今年のテーマである和の文化を広めよう、ということで予定しています。春休み中に小学生のお箏の体験講座を実施予定です。</p>
委員	<p>講談講座では小学生は大人しく参加していたのか、様子を教えてください。</p>
事務局	<p>その子は親子で参加でしたので、大丈夫でした。熱心に聴いていました。</p>
委員	<p>切り絵展示の周知方法は。平日に200人超集めるには、相当情報が行き渡っていたと思うのですが。</p>

議 事 の 経 過	
発言者	発 言 内 容
事務局	主にはスタンダードなポスター掲示、市役所内での電子掲示板、それから市内循環バスにも一部貼らせていただきました。何しろサークル会員の方の熱心な宣伝、口コミによるものも大きかったのかなと思います。丁度その期間に文化フェスティバルの一部で箏の講師もいて、市民ホールに別の用事でいらした方も1階に回る機会もあったと思います。
委員	これだけ好評ですと、定例化されることはあるのですか。
事務局	中々美術的な会が中々、加納公民館ではサークルはないものですから、また大きな企画があれば共催事業をどんどん推進していきたいです。
公民館長	桶川公民館では今年度 26 講座実施予定で㉔まで終了しています。㉔はサークルになりました。今年度は保護者とその子供でパン作りやケーキ作りを実施し人気が高いです。⑭中学生企画ですが昨年度の企画でして、英語を話して桶川の名所めぐりを行い、外国人の先生を講師に実施しました。㉑の書初め講座ですが、中々自宅で習字をする機会がなく、しかも講師から教わる機会が中々ないという需要で保護者や学校の方からも来年もぜひ実施してほしいと要望を受けています。㉒今年度の中学生企画講座です。こちら実験編と料理編と2講座の企画でして、まずはべに花を使用した料理講座を行います。
	川田谷公民館ですが、18 講座実施します。外構工事等がありまして、安全に開催することが難しい期間もありましたが、担当がかなり頑張ってください実施できています。夏休み以降は、⑬子供料理教室では味噌ラーメン、ジャンボしゅうまいなどを作りました。⑯中学生企画講座ですが、天候の都合で開催日を変更して3月に実施します。⑰⑱申込対象を中学生からと表記していて大変いいんじゃないかと反響があったのですが、これから開催予定となっております。
委員	桶川公民館の夏休み子どもワールドですが③、⑥、⑦競争率が高く10倍ですね。これだけ申し込みがあると回数を増やしてあげたらいいなと思うのですがどうでしょうか。
事務局	アイシングクッキー講座は増やしたいと講師にも打診しましたが講師も平日は会社員として仕事をしていて、ほぼ趣味で活動されていてクッキーも先生手作りのもので事前準備が難しく、1コマのみで追加開催はできなかったです。

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委員	他の講座よりダントツで申し込み者数が高いから、残念ですね。
委員	時期を変えてもう1回実施する工夫がほしいなと思います。
委員	抽選で落選した135人が残念で。
事務局	わかりました。ありがとうございます。
委員	中学生企画講座ですが、生徒の企画力やプレゼンテーション能力の向上につながり、また、3日間の体験だけでなくその後も公民館に携わったという話を聞きますと、社会勉強にもなりますし講座の実施人数もあるかとは思いますがぜひ続けていただければと思います。企画に関わった生徒は相当力がついたと思いますし、達成感も大きいのかなと思います。中学生についてはチラシを配布していただき、ありがたいと感じています。私たちは人とのふれあいですとか、体験やモノづくりなど、そういったものを経験しながら人生を豊かに生きていきたいなと思いますので、子どもワールドなどそういったもので味わわせていただくのかなと。すぐには結果にはつながらないかもしれないですけど種をまくといいますか、そういうものになるのかなと思います。児童も生徒もそうですけどネット社会の中で生きておりました、中々体験をしていかないと楽しめないといいますか趣味の世界も広がっていくこともありますので。
事務局	来た中学生に聞くと本当は図書館が第一希望という子だったので、企画大丈夫かなと思っていたのですが3日目の考えた企画をプレゼンするという時にはしっかり説明してくれました。この日に設定した理由、参加費をワンコインにした理由を考えてくれていました。
委員	川田谷公民館の中学生企画⑩対象が3歳から小2と保護者となっていて対象が中学生ではないところが気になって、それはどんな講座なのか気になりましたので教えてください。
事務局	企画を考えた中学生がアートを楽しむという講座です。無理に絵を描いたりせずに幼い子たちなので色塗りやその配色を楽しむという講座です。 補足ですが⑮⑯と2つの中学生企画講座を実施します。西中から2人が社会体験にきて通常であれば、二人の企画のうち

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>どちらかになるのですが、二人ともそれぞれの講座をぜひやりたいという気持ちがあるので実施することになりました。ティッシュケースを作る講座が一つ、先ほどご質問をいただいた講座は企画した中学生がコーディネーターとしてその子を中心にすすめるという形でやっています。年齢が上がってくればものを描いたりとか、小さい子がものを描かなくても色だけで自分自身の楽しかったことなどを表現できるよ、というそれで絵を楽しむというイメージの内容だそうです。実施にその企画した子が小さい頃に経験があるということとでそれでそういうことを体験してもらえればという講座です。そこで使った色などでお子さんの心理を読み取るというようなことではないです。純粋に色だけで色塗りだけで楽しむ思い出アートというそういう形の変った企画の講座です。今までの講師を立てて公民館の講座はやっていますが講師はいなくてコーディネーターという企画者の中学生がメインとなって進めていく講座です。企画した二人は双方の講座は出るということで実施します。</p>
委員	<p>加納公民館講座の⑩に参加しました。これはとても良い企画でした。どんな内容かといいますと、地震なり台風なり災害が起きた時に避難所へ市民を集めるのですが、集めたら色々な問題がそこに生じるわけですね。トイレの問題、ライフラインの問題、そういった場合、運営する側はどう対応していったらいいのかということの体験談なんですね。5、6人で3つのグループにわかれまして、それぞれ予想される避難所の中の問題点をどのようにしていったらいいのかということを考えて、すぐにでも役立ちそうな内容でした。グループで色々な問題点が出ました。主催者の県防災指導員という方が講師で、問題がカードになって山のようにありまして、それひとつひとつを各グループでどう解決したらいいか考えていました。難しいなど。埼玉県というのは自然災害が非常に少ないですよ。だから関心が薄いですよ。南海トラフや首都直下型地震が来るということで話題になっていますが、市の方でもそういった声がほとんど聞こえないですよ。起こってからじゃ遅いですから今一度認識したほうがいいんじゃないかと思いました。とても良い講座でした。市役所でも防災担当者がいると思いますから、ぜひお話を聞いてほしいです。講座タイトルのHUG（ハグ）が避難所運営ゲームという意味ですよ。認識を新たにしたいなと思います。</p>
委員	<p>川田谷公民館講座②ですがインクルーシブな講座を実施していただき、とてもよかったですと思いました。社会教育って主体</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委員	的な学びなのですべての子供に対してそういう機会を与えるということは素晴らしいなと思いました。ただこれが一回だけだったので、見学する講座もいいのですが、伊奈町でボッチャの体験をしてきました。障害のある方が対象ということで健常者も年齢関係なく楽しめるというようなものも取り入れて川田谷公民館のスポーツホールでやれたらいいのかなと、楽しい時間をみんなで過ごせるかなと思ったりしましたので、こういったインクルーシブな講座についても継続をお願いしたいなと思います。
委員長	続きまして、【資料2-2】の説明を求めます。
事務局	幼児・家庭教育セミナーのアンケート結果になります。家庭教育セミナーについては11月から3月の期間、全6回で開催しているところです。4回までのものを集計しました。満足度について、ほぼ満足していただいているなと思います。内容も担当の方が頑張っていただきまして、最後あと1回、3月2日になりますが総振り返りと、幼児向け救命救急講習を県消防本部の方を講師に依頼しています。ふれあい学級も全9回で6月から12月まで開催しました。例年のコロナ前の6割くらいまでの定員で募集しました。申し込み開始1週間経たないうちに満員になっております。
委員	アンケート読むと面白いですね。
委員	感動しながら読んでいました。
委員	アンケートがついていると本当に満足して帰ったんだなというのがわかりますね。
事務局	不安に思っていることを書き出している質問もありますので、どういった方法で対応しているのかということをお話していただいて、実際に色んな気持ちを共有して、他の人はこんなやり方をしているのか、一生懸命やっているのかを知る機会にもなっています。
委員	参加者はお母さんとお子さんですか。それともお父さんと一緒の時もありましたか。
事務局	1回目は内容が運動だったので、今年はパパも一緒に参加が多かったように思います。

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
委員	アンケートをみて設問の中に講座を受ける前後で違いがあったか、という質問が毎回ありますが、それを読みますと講座を受けた方みんなに前向きな変化が表れている、それもとてもポジティブなものになってきているというのがこの書いてある範囲でも読み取れて、これはすごくいい講座なんだと思いました。大変な中で子育てされているんだなということも読み取れたりしました。この事業は大事な部分だなと思っていますのでぜひ続けていってください。
委員長	それでは議事を進めさせていただきます。 報告事項の④令和7年度当初予算の概要について事務局より説明求めます。
事務局	資料3に基づき説明
委員	インターネット回線について、インターネットがこれだけ重要になる中で、あらゆる活動に情報発信が関わってくる中で回線の設置は基本的なことのようですが。
委員	放課後子ども教室で英語を教えているのですが、絶対に学校のインターネット回線は使用できないとなっています。世の中の全体の動きと逆行しているというか社会的な合意が出来てないのかなど。不自然さを感じます。
委員	性善説と性悪説とありましてね。悪さしちゃうんじゃないかというのがあって簡単には同意が得られないのでは。簡単にはいかないということですね。
委員長	議事は以上になります。 それでは進行を事務局にお戻しします。
公民館長	次第4 その他 次回令和7年度公民館運営審議会第1回定例会は4月21日(月)9時30分からです。
公民館長	次第5 閉会 委員あいさつ
委員	長時間に渡りまして慎重なご審議ありがとうございました。そして活発で建設的なご意見を頂戴し、職員の方も丁寧なお答えをいただき、大変実のある会議であったと思います。4月の定例会もこのような会議になるといいかなと思います。ありがとうございました。

議 事 の 経 過	
発 言 者	発 言 内 容
公民館長	以上を持ちまして、本日の審議会の議事はすべて終了いたしました。これにて、令和6年度桶川市公民館運営審議会第3回定例会を閉会といたします。本日はありがとうございました。